

第2章 健康トライ21（第2次）に向けた課題

1. 健康トライ21最終評価を踏まえた課題

健康トライ21の最終評価は、平成25年からの健康トライ21（第2次）の計画策定に反映させるため、平成24年度に評価作業を行いました。健康トライ21では、生活習慣病予防に関連のある7つの分野ごとに目標を設定しています。これらの目標の達成状況と取組みの評価を行いました。

(1) 最終評価の結果

1) 全体の目標達成状況の評価

7つの分野の全指標33項目のうち、全国値を除く25項目の達成状況は以下のとおりです。Aの「目標値に達した」とBの「目標値に達していないが改善傾向にある」を合わせて、全体の5割強で一定の改善がみられました。

表1 評価項目の達成状況

評価区分（策定時*の値と直近値を比較）		該当項目数（割合）
A	目標値に達した	7項目（28.0%）
B	目標値に達していないが改善傾向にある	7項目（28.0%）
C	変わらない	5項目（20.0%）
D	悪化している	6項目（24.0%）
E	評価困難	0項目（0%）
合計		25項目（100%）

*中間評価時に設定された指標については、策定時以降の値と比較

7つの分野の指標の中、主なものは以下のとおりです。

- A : 乳がん検診（マンモグラフィ）・子宮がん検診・大腸がん検診受診率
60歳代で24本以上自分の歯の人の割合
食生活にかかわるボランティア人数
- B : 朝食を欠食する人の割合
完全禁煙で整備された施設の割合
むし歯のない幼児の割合
- C : 適正体重を知っている人の割合
多量に飲酒する人の割合（女性）
- D : 運動習慣のある人の割合
自殺者数
進行した歯周病のある人の割合（50歳代）

表2 各評価項目の達成状況

※出典のトライ市民調査は、健康トライ21市民アンケート調査の略

	評価項目	出典	内訳	ベース値	時期	最終評価	時期	目標
栄養・食生活	朝食を欠食する人の割合	アンケート調査	小学3・4年生	16.6%	H15	11.0%	H23	0%
	適正体重を知っている人の割合	アンケート調査	4か月児健診	87.7%	H15	87.9%	H23	95%
	野菜を2回/日以上摂取している人の割合		保護者	64.0%	H15	65.1%	H23	70%
	外食栄養成分表示店数	事業実績(累計)		185店	H15	367店	H23	400店
	食生活にかかわるボランティア数	事業実績(累計)		282人	H9~15	566人	H23	560人
身体活動・運動	日常生活における歩数	国民健康・栄養調査	男性	8202歩	H9	7136歩	H22	9200歩
			女性	7282歩		6117歩	H22	8300歩
	運動習慣のある人の割合	市政世論調査		22.7%	H16	18.0%	H23	35.0%
休養・こころ	睡眠を十分に取れていない人の割合	トライ市民調査	20~79歳	23.1%	H16	24.2%	H24	15.0%
	ストレスを感じた人の割合	市政世論調査		76.5%	H16	64.7%	H23	69.0%
	うつ領域にある人の割合	トライ市民調査	20~79歳	17.6%	H16	11.6%	H24	16.0%
	自殺者数	人口動態統計		109人	H15・16平均	120人	H24	98人以下
たばこ	喫煙する未成年者の割合	全国調査	中学1年男子	7.5%	H8	1.6%	H22	0%
			中学1年女子	3.8%		0.9%	H22	0%
			高校3年男子	36.9%		8.6%	H22	0%
			高校3年女子	15.6%		3.8%	H22	0%
	完全禁煙で整備された施設の割合	公共施設調査		45.6%	H15	90.0%	H24	100%
アルコール	飲酒する未成年者の割合	全国調査	中学3年男子	25.4%	H8	8.0%	H22	0%
	適度な飲酒を認知する人の割合	市政世論調査		48.4%	H14	46.2%	H23	60%
	多量に飲酒する人の割合	市政世論調査	男性	10.7%	H14	9.9%	H23	3.0%
女性			2.5%	H14	2.6%	H23	1.0%	
歯の健康	むし菌のない幼児の割合	事業実績	3歳6か月児健診	69.7%	H15	79.5%	H23	85.0%
	進行した歯周病のある人の割合	成人歯科健診	40歳代	51.3%	H13	53.0%	H23	40.0%
			50歳代	54.1%		58.6%	H23	43.0%
			60歳代	54.5%		H13	63.4%	H23
80歳代で20本以上自分の歯の人の割合	全国調査	80歳代	15.3%	H13	38.3%	H23	28%以上	
生活習慣病予防	特定健康診査受診率	事業実績	40~74歳	19.8%	H20	21.8%	H22	65.0%
	メタボリックシンドローム該当者の割合	事業実績	男性	28.4%	H20	28.0%	H22	10%減
			女性	10.4%	H20	9.4%	H22	10%減
	がん検診受診率	事業実績	胃がん	9.0%	H16	11.1%	H23	14.0%
			大腸がん	10.0%		15.3%	H23	15.0%
			子宮がん	14.0%		25.5%	H23	19.0%
乳がん			3.0%	H17		16.2%	H23	8.0%

2) 最終評価からの課題と今後の方向性

最終評価から見てきた、健康トライ21（第2次）に向けた今後の方向性は以下のとおりです。

①生活習慣を改善し続けるための仕組みづくり

健康づくりの情報は得られていても、生活習慣を変えること、それを続けることにはつながりにくい現状がありました。国の最終評価のデータでも、心がける人は増えましたが、行動は変わりにくかったようです。行動を変える、変えた行動を続けるを支える仕組みづくりとして、身近な集団（職場・学校・地域など）で、それぞれの対象に応じた効果的な環境整備の仕組みづくりが必要です。

②健康づくりの情報や取組みが届きにくい人を支援できるまちづくり

保健所事業に参加される人は、健康に関心の高い人が多い傾向にあります。しかし、健康問題を抱えやすく悪循環におちいりやすいのは、健康に関心の薄い人、情報が得られにくい人、社会的なつながりが少ない人が多い傾向があります。これらの人々への支援、言い換えると健康格差の縮小への対策は重要な課題であり、市民、関係機関、関係部局と連携して、身近な場所で支えられるまちづくりに取組んでいかなければなりません。

③市民との協働による健康トライ21（第2次）の推進

市民・市民グループとの健康トライ21の普及啓発活動は、取組みの企画から運営、評価までを協働で行うことにより、より市民のニーズに沿ったものとなり、活動の幅が広がりました。健康トライ21（第2次）でも、引き続いて協働で推進していきたいと思いません。

④庁内関係部局との連携

東大阪市の各部局では、健康トライ21と共通する分野の取組みがなされています。今後は、健康に関係するデータや取組みについての情報交換や意見交換を行い、社会環境整備及び健康格差縮小の対策等のために連携をしていきたいと考えます。

⑤進捗管理できる目標の設定

健康トライ21の評価項目は、東大阪市内で収集できないデータもいくつかあり、国のデータを用いるなど、評価がしづらい状況がありました。定期的に収集が可能なデータで、取組みの評価になり、次の取組みに反映できるものを評価項目としていく必要があります。